

中道徳（メール1）

主 題	信頼できる友達	内容項目	2-(3)
資料名	秘密にしたかったのに	用いる疑似体験の指導	メール（スタモバ）
ねらい	メールに対する価値観の違いを理解し、共によりよく生活しようとする態度を育てる。		
主題構成の理由	携帯電話を持っている生徒は、連絡やささいなことを報告することにもメールを使用する。機能として安易に転送することもできる。メールに対する価値が人それぞれ違うので、友達の気持ちを考えて正しく使うことに気づかせたい。		
展開の大要		指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> メールを使っていて、いやな思いをしたことがありませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> メールを使っていて困ったことなどについて話し合い、資料への関心を高める。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ヤスシ君の後ろ姿を見送ったわたしは、どんな気持ちだったでしょう。 わたしは、どうして掃除時間のできごとをアツコにメールしたのでしょうか。 わたしは、メールを転送したアツコをどう思いましたか。 母の話を聞いてわたしは何を考えたのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> わたしの気持ちに共感させる。 言い合いになった内容を明確にし、わたしとアツコの考え方の違いに気づく。 母の話を聞いてアツコに送るメールの文章を考える。 	
終末	<ul style="list-style-type: none"> 今日の授業の感想を書きましょう。 		
他の教育活動との関連			